

藍住町 議会だより

第18号

平成11年8月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156



枯山水の庭園跡（長尾鉄工所）

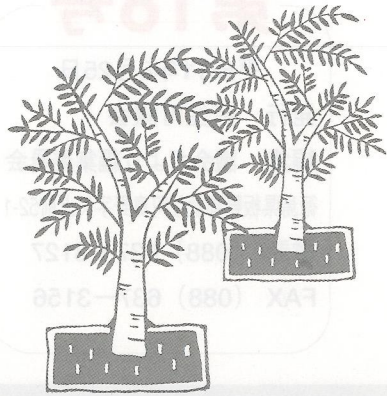


出土された中国製の磁器・備前焼・土器

主な内容

6月議会

- ・一般質問 P 2 ~ 5
- ・本会議の質疑から P 6
- ・議案の審議結果 P 7
- ・常任委員会の報告 P 8
- ・第2回臨時会 P 9
- ・町民の声 P 11
- ・議会のうごき・編集後記 P 12



6月議会 一般質問



森
たけし議員

6月定例会では、2名の議員が一般質問を行いました。

一般質問 とは

一般質問とは、執行機関に対し、藍住町の行政全般にわたって説明を求め、または所信を質すこと。これは通告により登壇して行われます。

（質問）

一 中央競馬会の場外馬券売場設置に

反対

① 場外馬券売場を藍住町千鳥ヶ浜に八万㎡もの農地を潰し、町民に内密に進め議会開会日に地権者代表と業者の新日鉄と設計業者が、建設用地が80%確保出来たから議会として賛同を求めてきたが、どの市町村でもギャンブル施設設置には反対運動が起きます。それは競馬や競輪に熱中すれば家庭崩壊、家族の離散の悲劇が起きることも数少なくないからです。

いま、青少年の健全育成が問われ、非行問題も大きな社会の課題です。全国の

（答弁）

例では中学生、高校生が出入りし、非行促進の原因となり青少年の非行化に拍車の一因となっている。社会環境の浄化を図るべき行政が、悪化を促進する立場になるべきではありません。

馬券売場が開設されると、数千台の車が藍住町に集中し、車の渋滞や交通事故多発の心配があり、ギャンブルにつきものの暴力団の進出で、藍住町の治安の悪化が一気に進みます。町長は町民の安全、青少年の健全育成と福祉、教育文化を発展させる義務があり、当然反対の立場を表明すべきである答弁を求める。

教育、環境面などをはじめ、農業振興地域にかかる問題点などを多面的に検討を重ねると同時に、議会議員の皆さんのご意見を十分に拝聴をしていく中で、町の在り方について道筋を求めていきたいと考えている。

（答弁）

② 藍住町の小、中学生の児童の非行、不登校、学級崩壊が心配されているが、子供の健全育成、非行防止、文化向上の立場に立つ教育委員会の立場から、教育長に答弁を求める。

教育環境の面からいえばマイナスであると判断します。



場外馬券場の建設計画が持ち上がっている農地

③ 農業委員会は農民の利益代表機関で、農地転用や売買、貸し借りなどに対する権限をもつ行政委員会であるとともに、農政上の意見を自治体や国に反映させることが法律で認められた農民の議会であり、今日の情勢のもとで農家と農地を守り、農業の建て直しに向け大きな役割を果たす機関である。日常的で大事な仕事は、農地を守り有効利用を促進することで、農地法で権限を与えられた農業委員会にしか出来ない仕事である。農地の維持確保は、農業の建て直し、食糧自給率の向上という国民的課題の達成に欠かれない、また地域の環境保全の上でも重要です。無秩序な転用や違法な農地取得を厳しくチェックする。農地の売買、貸し借りや転用の耕作を目的としない取得についてはよく調査し、農地を守る立場から厳格なチェックが必要である。農業委員会としての答弁を求める。

（答弁）

農地法に基づく委員会における審議ということを優先に、許可・不許可の判断は委員会であることになると思う。

（質問）

二 介護保険制度について

現在なんらかの在宅サービスを受けている人の二割はサービス対象外となり、デイサービス利用者の軽度な人や社会との接点を持つ為に通所している人は対象外となる。この問題解決に（一）支援を必要とする人に家事援助を補完するサービスを行うこと。（二）40才〜64才までのサービスに該当しない人にホームヘルパーの派遣やミニデイサービスの利用ができるように福祉事業に位置づけること。（三）ホームヘルパーの派遣回数、時間を必要に応じ上乘せサービスすること。

（四）保険料の徴収は、月額一万五千円の年金生活者からも徴収されます。低所得者への減免制度を行うこと。（五）介護保険導入により現行の老人福祉制度より後退しないこと。

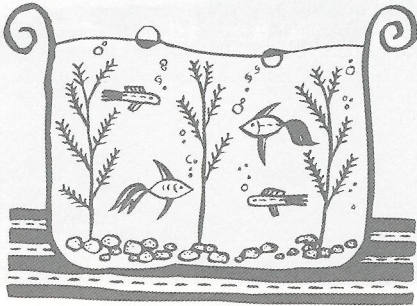
（答弁）

非常に厳しい中での手探りの事業なので、町理事者・職員共々この問題については十分対策を練り、十二年四月からスムーズに行えるよう努力をしていきたい。

その他に、町営住宅の適正管理、学童保育、第十堰改築事業についての質問がありました。



介護保険のペープサート（紙人形劇）



6月議会 一般質問

喜田 敏夫議員



〔質問〕

□平成不況の中で町行政に対する影

響は？

政府の必死の介入にもかかわらず、銀行、保険をはじめ多くの民間企業の倒産が相次いでいます。町内の企業もこの不況をもろに受けていると思うが、状況の把握はどうか。また、就業人口に対する失業者の動向、ならびに行政に対する影響はどうなっていますか？

〔答弁〕

非常に厳しい社会情勢、不況が続いています。その中で、リストラや雇用の解除等が相次いでいますが、いつまでたっ

てもその先行きが見えないというのが現在の現状でなかろうかと思う。

平成三年と八年の事業所統計によりますと、人口増加に比例して事業所と従業員数は増加していますが、五年に一回実施している国勢調査における完全失業者数を見ると、平成二年では四一六人であったが、平成七年では六四二人となっており、急激にして深刻な不況が進んでいると言わざるを得ません。また、法人税につきましても、ピーク時の平成八年と比べますと減少しています。

〔質問〕

□地方分権整備法が衆議院を通過し

ました

これに伴い行財政改革をはじめとして行政全般の見直しを急がなければなりません。主権者である国民に密着した自治体を中心に行政を進めることになるが、それだけに責任も生じます。多くの施策が不況により破綻寸前であり、マクロ的にも少子、高齢化が進み、税収減は免れません。最小の費用で最大の効果をもたらす方策はありますか？

〔答弁〕

地方分権に伴い、増大する事務と権限責任に的確に対応するための行政体制の整備、確立と財政の健全化は、一層進めて行かなければならないと思っています。

〔質問〕

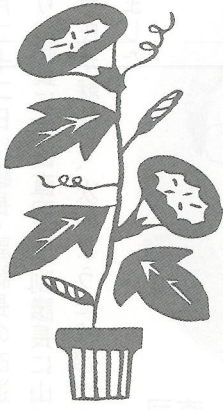
□「ISO」国際規格の認証取得を

してはどうか

民間企業では少しでも収益を上げるために「ムダの排除」に努力しています。地球環境にまで視野に入れたシステムです。このシステムを行政に導入することによって毎日、当たり前のようにやってきた業務に「いかにムダが多いか」が判ります。すでに行財政改革の一貫として取り組む自治体もあります。本町も他に先駆けて取り組むべきと考えますがいかがですか？

〔答弁〕

認証取得のための方策について、まだ研究や調査に着手していません。また、品質管理システムについては、業務手順書の作成や行程管理等において、行政における諸活動を体系化、ルール化し事務処理や行政サービスの水準確保等の向上を図るというのであれば、本町においても行政改革の見直しの中で、会議等において取り入れられる部分については考えていきたいと思う。



（質問）

〔四〕介護保険は来年四月の運用に間に合うのですか？

長引く不況により「保険」と名のつくものは破綻寸前であります。そんな時に新たに「介護保険」を導入しようとしていますが、政府は「導入後では選挙に勝てない」と言うほど中身の悪い制度です。町民の中で特にお年寄りは「保険料を取るのに本当に大丈夫なのか」と不安がっています。町民が安心できる「介護保険」ができる見通しは本当にあるのですか？

（答弁）

体制としては、十分その事業に対して施行していける体制で準備中ですので、町民の皆さん方、また介護を受ける皆さん方のご期待に添えるような立派な事業になるよう今後も努力していくし、準備もしていきたいと思っています。

（質問）

〔五〕第十堰改築事業について

徳島市につづいて藍住町でも地元説明会を開いています。審議委員会で「県民の意見は聞いた」として「可動堰は妥当」との答申をしました。二市六町の議会も「推進決議」をしました。町長の言う通り、間接民主主義のプロセスは出来ているのに、なぜ住民の理解を得るために必死になるのか。先週のマスコミの調査では、藍住町で八〇％の住民が住民投票で決めるべきと言っています。徳島市だけで決めるべきでないというのなら、町長が音頭を取って、流域二市六町で、住民投票の実施をするべきであると考えますが、町長の所見はどうですか？

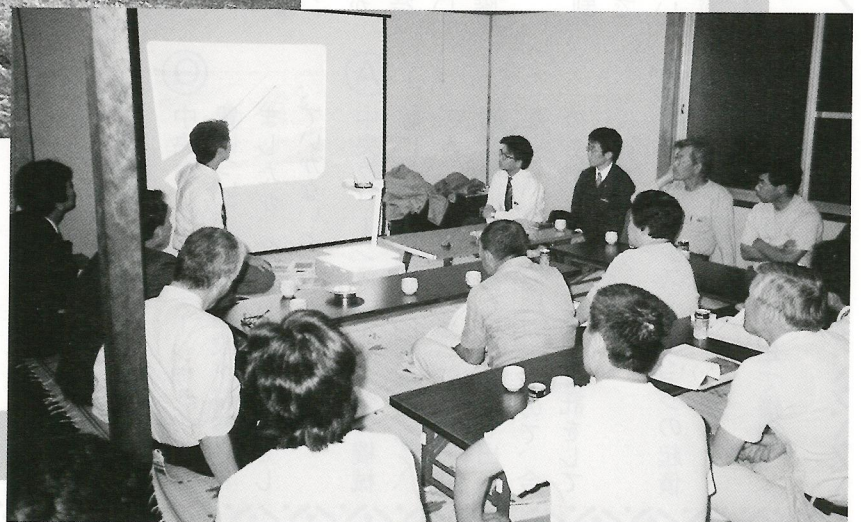
（答弁）

二市六町ではすでに可動堰推進の議会での議決を行っています。また二市六町の首長は、直接民主制は、間接民主制を補完するものであり、第十堰改築事業については、二者択一の住民投票になじまないという認識に立っています。



▲吉野川第十堰

▼吉野川・第十堰地区別説明会
(祖母ヶ島地区)



新・正副議長決まる

六月二十二日に議長・副議長の改選があり、議長に吉田直司氏、副議長に山田民恵氏が就任し、次のように挨拶がありました。



議長 吉田 直司

今日、皆さん方のご好意によりまして、新しい議長として努めさせていただきます吉田直司でございます。浅学非才ではございますが、一生懸命町行政、藍住町発展のために、町行政のチェック機関として、与党・野党なしに皆さん方にご協力を願うなか、一生懸命努めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願います。



副議長 山田 民恵

ただ今、副議長という職につかせていただきました。もとより浅学非才な私ではございますが、先輩の皆さん方のご協力、またご指導をいただきながら、町発展のために、また平和のために尽くしていきたいと思っております。

農業委員会委員

農業委員に次の方が、選出されました。



奥村 晴明氏



藤田 吉雄氏



喜田 修氏

本会議の質疑から

定例会最終日に、開会日に上程された全議案に対する総体質問が行われました。

主なものは次のとおりです。

■藍住町・板野町・上板町介護認定審査会共同設置について

■特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

○減免制度はどうする。

○国の基準どおりやっていきたい。

○低所得者を救う政策を明示すべきではないか。

○保険料でどういうようにして、多くの人を助けていくのかということとは、国の方でもまだ、十分わかっておりません。できるだけ期待にこたえるよう、迷惑のからないように、町としても施行する段階で考えていきたい。

○年金生活者や低所得者の減免制度や救済方法の問題がクリアできずに見切発車しようとしている。これらの問題を解決するのが専決であり、解決されてから、この議案を提出すべきではないか。

○老人福祉措置制度は、平成十二年三月三十一日で切れてしまします。四月一日からは、介護保険制度が導入をされます。そのための認定作業が、本年十月より始まります。全てが分かった段階ですというのではとても認定作業ができませんので、その点ご理解をいただきたい。

■平成十年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し承認を求めることについて

○中央クリンステーションの管理費について新しい施設が整備されましたが、今後も管理委託をしていかないといけないのか。

○中央クリンステーションの機械等については専門的要素が多く、ごみ、し尿施設については、原則的に機械を止めない、公害を出さないという大原則があるので、今後も従来どおり、管理委託をしていきたい。

○中央クリンステーションの起債の償還期限は。

○二年据え置きで、十年で償還。

●●● 6月議会ではこのような議案を審議しました ●●●

■町長提出

	議案番号	付 議 事 件	審議結果
議 案	第25号	藍住町税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて	原案可決
	第26号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて	原案可決
	第27号	平成10年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて	原案可決
	第28号	藍住町・板野町・上板町介護認定審査会共同設置について	原案可決
	第29号	特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
報 告	報告第3号	平成10年度藍住町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
	報告第4号	平成10年度藍住町一般会計事故繰越計算書の報告について	
	報告第5号	平成10年度藍住町特別会計（水道事業）建設改良費の繰越しについて	
	報告第6号	平成10年度藍住町特別会計（地域振興券交付事業）繰越明許費繰越計算書の報告について	

■議員提出

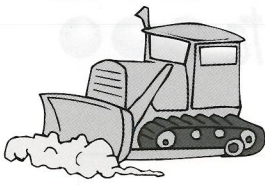
	議案番号	付 議 事 件	審議結果
議 案	第30号	副議長の辞職を許可することについて	原案可決
	第31号	副議長の選挙について	山田民恵
	第32号	議長の辞職を許可することについて	原案可決
	第33号	議長の選挙について	吉田直司
請 願	請願第1号	新ガイドライン関連法案への協力拒否と廃止を求める請願書	不採択

常任委員会の審議結果より

建設産業常任委員会

六月一五日建設産業常任委員会が開催され平成一〇年度施行の工事現場の視察を行いました。

視察場所は、地方特定道路整備事業、町単独事業、ふるさと農道緊急整備事業、農村基盤総合整備モデル事業、正法寺川公園整備事業として整備がされた八カ所十九工区で、視察の結果は問題となる指摘事項はなく工事も良好にできていました。



果樹整備



町道勝瑞正喜地線現場視察

六月一八日に文教常任委員会が開催され藍住中学校、藍住東中学校の視察を行いました。校舎内の見学の後、学校の現状と問題点について質問がされ、不登校児童、生徒については、本年四月より生徒指導加配により臨床心理士の先生が派遣されており、その先生を中心に対応を考えているということでありました。また、いじめという言葉が一般的によく使われるが、いじめとはある集団がある子供を長期的にいじめるということであり、今のところ学校でのいじめはないと認識しているという説明でした。

文教常任委員会



藍住中学校視察

平成11年 第2回臨時会

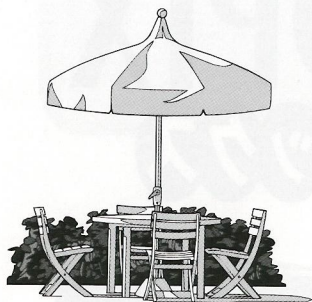
七月十二日第二回臨時会が開かれ、次の二議案が提出されました。

○藍住町農業委員会委員の推薦について

奥村 晴明氏・藤田吉雄氏・喜田 修氏が推薦され、農業委員に選任されました。
(6ページに関連写真掲載)

○藍住町「第十堰改築事業」調査研究委員会委員の変更について

吉田直司氏の委員の辞職に伴い後藤敬夫氏が委員に指名され、委員長に選任される。



議会全員協議会で

JRAの説明受ける

さる六月十四日の本会議終了後、JRA（日本中央競馬会）の徳島ウインズ計画について説明がありました。

この説明には、議員と町長ほか関係理事者が出席、計画の内容等について地権者会の代表者等から説明がありました。

計画の場所については、千鳥ヶ浜地区で徳島環状線沿いの北側の約八haの土地に、大型スクリーン、客席、投票所、レストラン、二千台収容の駐車場などを有し、福岡のウインズ八幡の形態を取り入れるとのことでした。

説明後、議員からはなぜJRAの関係者が来て説明をしないのか。

当該地域の農業はどのように進めていくのか。

鳴門市の競艇との関係もあり

十分な配慮が必要ではないかなどの質疑意見があり、JRAは特殊法人で当初の段階では説明に来ていない。農振整備促進協議会で十分と審議がされる。

さらに、地権者の意見も反映がされるものと思う。

また、鳴門市とは競艇と環境施設組合で親密な関係があり、配慮が必要であるなどの答弁がありました。



本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越しください。

なお、傍聴席の定員には限りがありますのでご了承ください。

TOPIX トピックス



人口3万人に！ 7.2



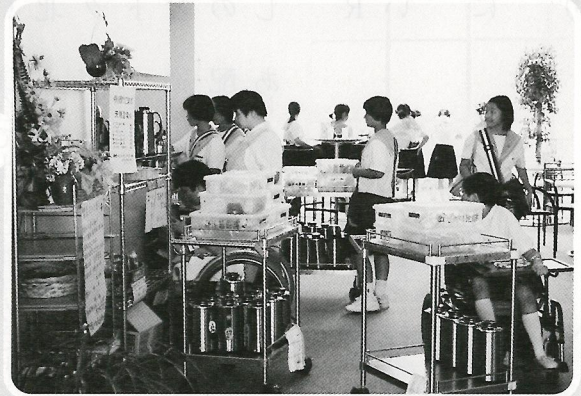
板野郡議長会定例会 7.8



愛媛県伊方町より視察 7.22



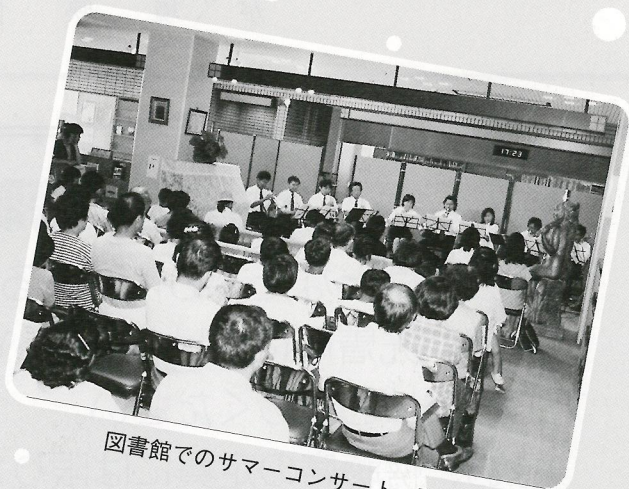
ジュニア軽スポーツでカヌー体験 6.26



東中学校生徒ステップ見学 7.5



町民プールで水遊びを楽しむ子供達 7.24



図書館でのサマーコンサート 7.25



広域行政のあり方について

春日 平野 誠一

公正な町政を望む

乙瀬 井上 常男

先般、全国市民オンブズマンの行った全国の自治体が発注する公共工事の実態調査では、談合や情報漏れ等の不正が多発し平成五年以降五年間に談合で摘発された建設業者は31都道府県にのぼり、予定価格を秘かに業者に漏らした知事、市町村長の汚職は44都道府県に及んでいる。

その背景には、地元企業育成名目の談合容認の風土や、首長選挙での首長と建設業者との癒着による公共工事を私物化する構造的なものがある。

当町発注工事の入札においても予定価格ぎりぎりの落札が多く談合、予定価格の情報漏れ等の疑惑があり、町議会では、M・K両議員から入札をめぐるとかくの疑惑は、町長選支援に対する業者への見返りとの声がある。との質問に納得いく答弁がないのでは、疑惑は解消されない。

また、入札の透明化のため、最低制限価格、予定価格の公開要求に対しても、堀江町長は「今後の入札に悪影響がある」等と頑なに拒否していた。ところが、最

近全国的な情報公開の流れから県、徳島市等其他の自治体が入札の透明化を図るとして、予定価格等を公開することになったため、当町としてもこれに倣わざるを得なくなり公開することになった。

本来公開しても、悪影響は全くないのである。建設業者庇いなどと言われない公平な町政を望みたい。



広域行政の方式としては、事務の共同処理と、自治体の区域を拡大することが考えられます。しかし、自治体の区域が大きければ大きいほど良いということはないと思います。事実大都市への編入合併しても、新しく負擔が増えても、決して行政サービスの向上は期待できないということが、多くの住民が認識するようになったと思います。

広域行政のやり方としては協力方式と合併方式とがあります。合併方式については双方の住民が真に納得するなら結構ですが、一般的に言えば広ければ広いほど良いということになりません。

自治体の規模は現在のままでよいので

あって、要は現在のように国に権限や財源を集中させないで、府県や市町村などの自治体に大幅に必要な権限と財源を保障することだと思っています。せめて「五割自治権」ぐらいは与えて欲しいものです。

自治体にどのような権限を与え、国に何のような権限を与えるかは、今後の事務、財源配分論の中で慎重に考え合意を得るべきでありましょう。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお気軽に寄せ下さい。

投稿規定

- 一、住所・氏名・電話番号を明記
- 二、掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 三、字数は五〇〇字以内
- 四、投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

議会のうごき

4月

1日 教職員着任式
9日 小・中学校入學式
13日 河北町町長・副議長来庁
14日 鳴門市議長杯競走
29日 徳島県植樹祭

5月

10日 議会だより編集委員会
21日 板野郡議長会定例会
24日 松茂町ほか三町競艇事業組合議会臨時会

25日 板野農業改良普及協議会総会
議会全員協議会

26日 大阪府河内長野市議会（ステッ
プ）視察来庁

27日 鳴門市・藍住町環境施設組合議会
福寿連合会総会

29日 GI大渦大賞記念競走
吉野川第十堰・流域住民の声を
届ける決起大会

6月

2日 議会運営委員会
3日～4日 全国町村議会議長研修会

全国町村議会議長研修会

7日 議会だより編集委員会
10日 板野郡議長会臨時会
14日 6月議会開会
15日 議会全員協議会
17日 建設産業常任委員会
18日 6月議会一般質問
22日 文教常任委員会
24日 6月議会閉会
26日 四国治水期成同盟連合会総会
30日 板野郡議長会臨時会
徳島県町村議会議長会臨時総会

ご連絡

次の定例会は
9月です。
次号は11月に
発行します。

○お問い合わせ
議会事務局
☎ 637・3127



編集後記

最近では気象観測も発達し、気象衛星からのデータやコンピュータの分析により、世界の気象予測が即座に分かるようになった。しかし、自然の前には我々はいかに無力であることを痛感させられた。大都市では、やたらとコンクリートやアスファルトで固めてしまったおかげで少しの雨でも道路が川となり、あつと言う間に低地へ流れ込んだ雨水によって大災害になってしまふ。下水、排水整備の「ズサン」さであれば「人災」の非難は免れないだろう。

これから台風シーズンを迎える四国地方ですが、とりわけわが町でも第十堰の論議も大切ですが前川、正法寺川、千間堀らの排水能力の再点検を急ぐべきです。備えあれば憂いなし！

議会だより編集委員会

委員長 喜田 敏夫
副委員長 山崎 タエ子
委員 森 たけし
委員 木内 敏文
委員 山田 民恵